

お天気解説

アキラのズバッと

天気予報「はじめの一歩」

夏至と大暑は一致しない

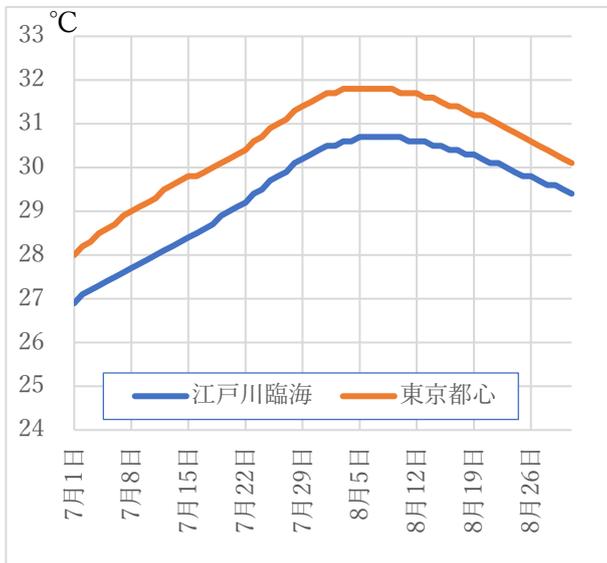
令和6年6月21日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

今日6月21日は「夏至」。太陽が出ている時間が1年間で最も長い日です。東京の場合、今年の夏至は日の出が4時26分、日の入りが19時00分で、太陽が出ている時間は14時間34分あります。ちなみに、日本の北ほど太陽が出ている時間は長く、東ほど日の出が早くなります。根室（北海道）では日の出が3時37分、那覇（沖縄県）では5時38分です。同じ日本でもこんなに違うのですね。



小岩菖蒲園のハナショウブ(区のHP写真を加工)



7～8月の最高気温（平年）の推移
気象庁データより作成

さて、夏至が6月なのに1年間で最も暑いのは8月です。暦(カレンダー)では7月22日が「大暑」で、立秋の前日(8月6日)までが1年間で最も暑い期間とされます。実際、東京都心では平年の最高気温が、この間に30.4°Cから31.8°Cまで上昇し、1年間で最高となります。江戸川臨海では、同じ期間に29.2°Cから30.7°Cに上昇します(東京湾からの海風の影響により都心よりも低くなります)。

では、なぜ8月が最も気温が高いのでしょうか。それは、空気が温まるのには時間がかかるからです。日々の気温変化でも、最も気温が高いのは14時ごろで、正午ごろではないのと同じ理由です。

2024年06月21日11時 気象庁 発表				
日付	今日 21日(金)	明日 22日(土)	明後日 23日(日)	
東京地方	雨後曇 	晴後曇 	曇時々雨 	
降水確率(%)	-/-/80/20	0/0/0/20	80	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (°C)	最高	22	29	30 (28~33)
	最低	-	18	22 (20~24)

東京地方の週間天気予報より(気象庁HPから抜粋)

土曜日の晴れ間はうまく生かしたいですね。

クリックすると最新情報が確認できます